

360° 鹿屋市戦争遺跡 VR が見られる場所

現地看板（写真内の○）に設置してある二次元コードをスマートフォン等で読み込むことでご覧いただけます。※通信料は各自負担



串良基地編

串良平和公園（串良町有里 5660-1）
地下壕第一電信室（串良町有里 4963-2）

特別攻撃隊の精鋭 363 人が敵艦に体当たりするため、南方へ飛び立ちました。串良基地から飛び立った特別攻撃隊員が、突撃前に送る電信を受信していた串良基地地下壕第一電信室の様子を VR で見ることができます。



笠野原基地編

川東^{えん}掩体壕（川東町 8206-5）
どっ菜市场観光看板（笠之原町 7517-1）



鹿屋基地を補完する飛行場に位置付けられた笠野原基地。1945 年 3 月の太平洋戦争末期にアメリカ軍の集中爆撃を受け、ダメージを負った鹿屋。空襲から航空機を守るための掩体壕によって爆撃を免れた航空機が飛び立つ様子を VR で見ることができます。



鹿屋市戦争遺跡 VR
市ホームページ



VRとは

ヴァーチャルリアリティの略で、仮想空間をあたかも現実世界のように体感できる技術。それぞれの戦跡スポットでスマートフォン等から二次元コードを読み込むことで見ることができます。（映像は 360°回転可能）



戦争遺跡を活用した平和学習推進のため、鹿屋市では新たに戦争遺跡 VR を制作しました。8 月で戦後 77 年を迎え、戦争体験者が少なくなりつつある今、風化させない新しい平和学習のあり方を考えます。

問 市ふるさと PR 課 ☎ 0994-31-1121

平和を学ぶ 新たなカタチ

金浜海岸編

高須トーチカ（高須海岸脇）
進駐軍上陸地の碑（県道 68 号線沿い）

太平洋戦争終結から間もない 1945 年 9 月 4 日。アメリカ進駐軍 2,500 人が日本占領と統治の足掛かりとして鹿屋に上陸しました。アメリカ海軍の上陸を監視するために作られた高須トーチカをテーマにしたこの動画では、金浜海岸に乗り上げた海艦船の様子を VR で見ることができます。



鹿屋市戦争遺跡 VR「金浜海岸編」より
アメリカ進駐軍上陸の様子

ただ、言葉では 100% 伝わりづらいところもあると思います。今年からは VR の映像を配信することによって、より現実的に体験できる取り組みも始まりました。このようにあらゆる方面から「平和とは何なのか」ということを伝え続けていきたいです。

私は平成 27 年に平和学習ガイドに認定されました。子どもたちに、「どうしてこの戦跡が残されているのか」、「平和とは何なのか」を深く考えてもらうためには、実際に鹿屋市で起きていた戦争の事実を伝えることが大事だと思います。活動を続けています。私はよく串良の地下壕で、特別攻撃機からのモールス信号を受信した兵士の話をします。モールス信号が途絶えたときに飛行機に乗った兵士の命が途絶えたとき。実際に戦跡があるからこそ、史実を理解しやすく人間の命の重みを実感できると思います。

VR によって言葉で伝わらない部分が体験可能に

鹿屋市平和学習ガイド
・調査員連絡会

ふるかわ おおむ
古川 修 副会長

